

令和2年度  
第1回 対策地域内廃棄物処理業務等（減容化处理）に係るアドバイザー委員会  
議事要旨

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、対象業務の資料を委員に送付し、電子メールにより御助言等をいただいた。

資料送付日：令和2年7月8日（水）

委員（敬称略）

公益社団法人 全国都市清掃会議 技術指導部長	荒井 喜久雄
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長	大迫 政浩
岡山大学大学院 環境生命科学研究科 教授	川本 克也
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 基盤技術・物質管理研究室 室長	倉持 秀敏
京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 教授	高岡 昌輝
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター 客員研究員	高田 光康
東北大学大学院 環境科学研究科 教授	吉岡 敏明
京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 教授	米田 稔

議事要旨

I 議事

1. 檜葉町対策地域内廃棄物処理業務（減容化处理）・解体撤去工事の結果について
2. 開閉所農林業系廃棄物処理業務（減容化处理）・乾燥設備稼働状況について

II 検討内容

1. 檜葉町対策地域内廃棄物処理業務（減容化处理）・解体撤去工事の結果について  
JFE・飛島特定業務共同企業体（以降、JFE・飛島JVと記載）が作成した解体撤去工事結果の資料を各委員に送付し、電子メールにて委員からの意見等を収集した。

(1) 解体撤去工事について

委員より、仮設テントを設置し、耐火物を予め除去したうえで、散水により粉じんの発生を抑制して解体作業を行ったことは適切であったと評価された。

(2) 仮設テントの運用について

委員より、仮設テントの負圧の維持と換気の際の汚染物質の除去はどのように実施したかとの質問があった。JFE・飛島JVより、仮設テントの負圧は仮設集じん機によりテント内の空気を吸引することで保ち、換気の際、HEPA フィルタを用いて汚染物質を除去した、との回答があった。

(3) 安全衛生対策について

委員より、解体作業において作業員の被ばく線量が高い作業は何か、との質問があった。JFE・飛島JVより、耐火物表層の付着物除去とその炉外への搬出に従事した作業員の被ばく線量が相対的に高かったが、全ての作業員が管理目安値を大幅に下回っていた、との回答があった。

2. 開閉所農林業系廃棄物処理業務（減容化処理）・乾燥設備稼働状況について

三菱・大林・東亜共同企業体（以降、三菱・大林・東亜JVと記載）が作成した乾燥設備稼働状況の資料を各委員に送付し、電子メールにて委員から意見等を収集した。

(1) 乾燥設備導入による効果について

委員より、乾燥設備の導入によって安定した運転が可能になり、全体として補助燃料使用量の削減や効率的な灰の封入が行われたことは、効果的な対処と考えられると評価された。

(2) 主灰の水切れが改善した要因について

委員より、堆肥の乾燥により燃焼状態が良好になって安定することで主灰の水切れが改善された要因は何かとの質問があり、三菱・大林・東亜JVより、乾燥前は堆肥が塊状のまま焼却され主灰となるが、乾燥することで堆肥が粉状となり、焼却炉内で一様に高温となって全体が粒状化するため水切りが改善されることが要因と考える、との回答があった。

(3) 放射性物質の状況について

委員より、空間線量率など周辺環境に影響が認められなかったかとの質問があり、三菱・大林・東亜JVより、受入供給設備棟内の空間線量率は問題なく、敷地境界における空間線量率も設置前から変化がない、との回答があった。

以上